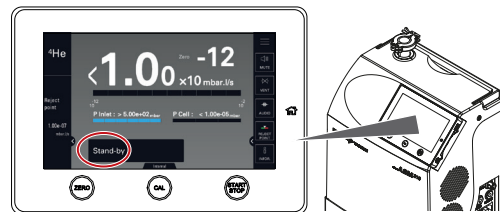


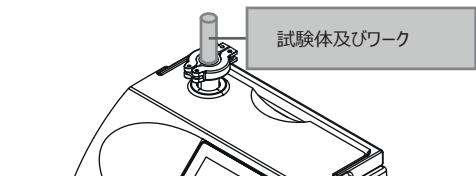
## 基本操作方法

① デテクターのスイッチをオンにし「スタンバイ」モードになるまで待ちます。



② 「VENT」ボタンを押して吸気口ベントを実行します。

③ リークディテクターを試験体及びワークに接続します。

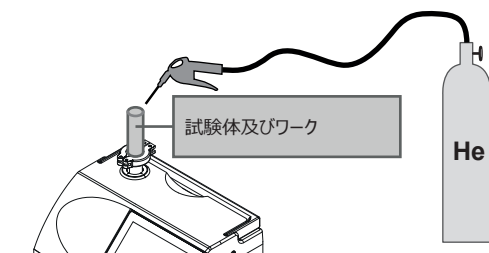


④ 「スタート」ボタンを押して測定を開始します。



⑤ ヘリウム信号の安定化を待ちます。

⑥ スプレープローブを使用して、テスト予定の部品または装置の周囲にヘリウムをスプレーします：最上部から始めます。



⑦ 漏れ量が結果が表示されます。



⑧ 「STOP」ボタンを押すとテストが終了します。



## 校正

校正が推奨されるタイミング

- 一日のご使用前に
- 高い測定精度が求められる検査前に
- リークディテクターが最適に動作する為
- 長時間に及ぶ連続運転前に

## アクセサリ

アクセサリ類と型番の詳細につきましては  
リークディテクター取扱い説明書の「アクセサリ」章を参照

RC 10ワイヤレスリモコン  
型番 124193



■ 吸気フィルタ 20 μm  
型番 105841



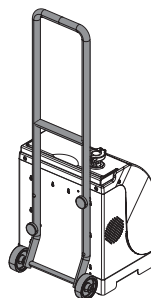
■ 標準スニファープローブ  
型番 SNC1E1T1



■ 輸送ケース  
型番 119594



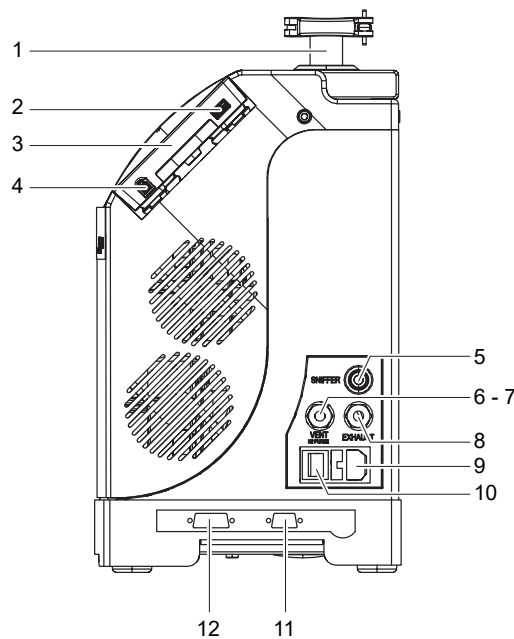
■ 輸送カート  
型番 122570



## ASM 310 クイックガイド

本クイックガイドは簡易版のマニュアルです。  
使用前は必ず取扱説明書をお読みください。

## 接続インターフェース



1	デテクター吸気ポート (吸気)
2	USBスティック用接続ポート
3	操作ディスプレイ
4	RC 10 リモコン有線ポート
5	標準スニファーク専用ポート (SNIFFER) <sup>1)</sup>
6	パーシガス兼用ポート (VENT/N2 PURGE) <sup>1)</sup>
7	ベント兼用ポート (VENT/N2 PURGE) <sup>1)</sup>
8	フィルタ付排気用ポート (EXHAUST)
9	電源
10	主電源スイッチ (I/O)
11	RS-232 9ピンD-Sub通信インターフェースコネクタ (INPUTS/OUTPUTS) <sup>1)</sup>
12	15ピンD-Sub I/O通信インターフェースコネクタ (INPUTS/OUTPUTS) <sup>1)</sup>

1) オプション (別売り)

## メンテナンス間隔

頻度	メンテナンス
15,000時間 または2年 <sup>1)</sup>	ダイアフラムポンプのシール交換
15,000時間 または2年 <sup>1)</sup>	ターボドラッグポンプのボールベアリングを交換
15,000時間 <sup>1)</sup> または2年 <sup>2)</sup>	内部自動校正リークまたは再校正/交換
500,000サイクル または4年	バルブの交換
毎2年	リークディテクターを使用していない場合、ターボドラッグポンプのボールベアリングを交換

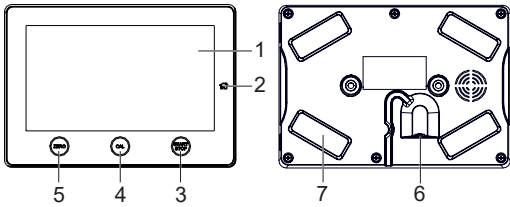
1) 運転時間

2) ストレージ

メンテナンスオペレーションの完全な表：メンテナンス説明書の「メンテナンス間隔および責任」の章を参照してください。

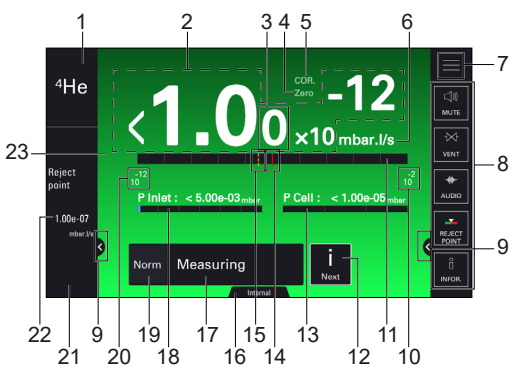
\*サービス間隔：所定のサービス間隔は、通常の動作条件に準拠した用途および作業速度に対するものです。マシンがより困難な条件で動作している場合は、点検間隔は短縮されます。

## 操作ディスプレイ



- 1 タッチスクリーン
- 2 メイン画面へ切り替えボタン
- 3 **START/STOP**ボタン。テストスタート/ストップ
- 4 **CAL** ボタン  
設定に応じて内部校正、外部校正、または校正の確認を開始します（取扱説明書の「校正」章を参照。）
- 5 **ZERO**ボタン  
オートゼロ機能を有効またはは無効。
- 6 デテクター接続ケーブルの差し込み口
- 7 固定用マグネット（x4）

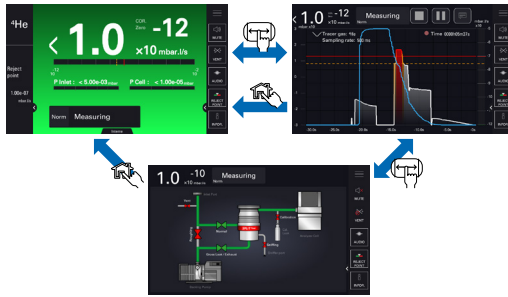
## メイン画面



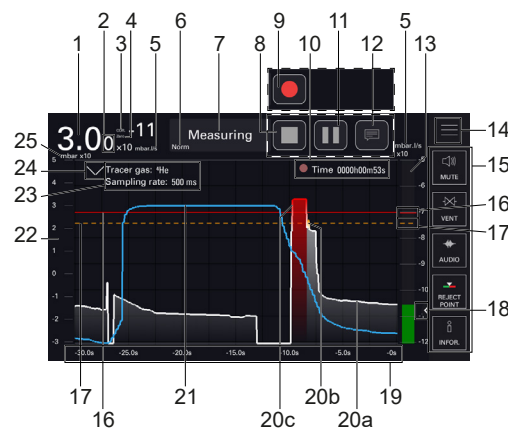
- 1 選択されているトレーサーガス
- 2 リーク率のデジタル表示  
灰色の画面：「スタンバイ」モードのデテクター、リーク率表示なし（ $\sim \cdot 10^{-\dots}$ ）
- 3<sup>1)</sup> 小数点第二位表示
- 4<sup>1)</sup> **ZERO**：オートゼロ機能が有効時に表示
- 5<sup>1)</sup> **COR**：適用補正係数
- 6 リークレートの単位
- 7 設定メニュー
- 8 ショートカット
- 9 サイドバーの表示/非表示
- 10 Heシグナルメーターの上限桁
- 11 リークレートのメーター表示  
(テスト結果に応じて色分け)
- 12 **[i Next]**：不具合/警告メッセージを確認
- 13<sup>1)</sup> 分析管の圧力
- 14<sup>3)</sup> 設定された合否判定値（赤色ライン）
- 15<sup>1)</sup> 警戒点設定（オレンジ色ライン）
- 16 校正の種類
- 17 デテクターの状態
- 18<sup>1)</sup> デテクターの吸気口圧力
- 19 選択されたテストモード
- 20 Heシグナルメーターの下限桁
- 21<sup>1)2)</sup> スニファープローブ流量（スニファーマード時）
- 22<sup>1)</sup> 設定されている合否判定値
- 23 画面の背景は、テスト結果によって色が異なります：  
緑色の画面：合否判定値を下回るリークレート  
赤色の画面：合否判定値を上回るリークレート  
灰色の画面：デテクターが「スタンバイ」モード

1) デテクター設定による表示  
2) 表示のみ  
3) テスト進行時に表示

## ナビゲーション



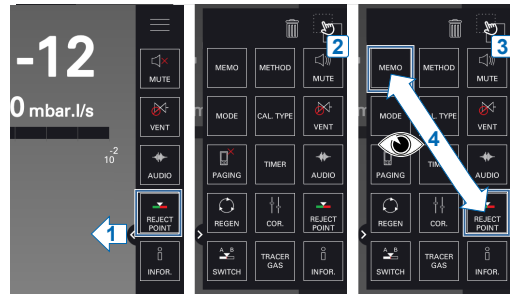
## グラフ画面



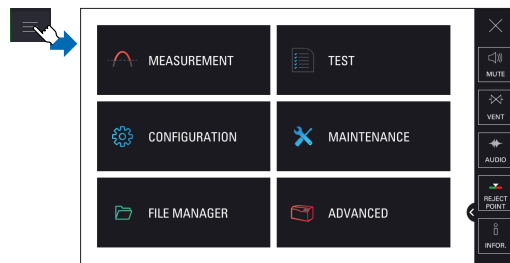
- 1 リーク率のデジタル表示
- 2<sup>1)</sup> 小数点第二位表示
- 3<sup>1)</sup> **COR**インジケータ：適用補正係数
- 4<sup>1)</sup> **ZERO**インジケータ：オートゼロ機能の適用
- 5 リークレートの単位
- 6 選択されたテストモード
- 7 デテクターの状態
- 8<sup>2)</sup> 記録の停止
- 9<sup>2)</sup> 記録の開始
- 10<sup>2)</sup> 記録経過時間  
● 灰色の点：進行中の記録なし  
● 赤色の点滅：記録中  
● 赤色の固定点：記録一時停止中
- 11<sup>2)</sup> 記録の一時停止/再開
- 12<sup>2)</sup> コメントアクセス
- 13 リークレートのバーグラフ表示  
緑色：警戒点を下回るリークレート  
オレンジ色：警戒点と合否判定値の間のリークレート  
赤色：合否判定値を上回るリークレート
- 14 メニュー設定へアクセス
- 15 ショートカット
- 16 設定された合否判定値（赤色の曲線）
- 17<sup>1)</sup> 警戒点設定（オレンジ色の曲線）
- 18 サイドバーを表示/非表示
- 19 表示時間
- 20<sup>3)</sup> リークレートのグラフ  
20a - 白い曲線：警戒点を下回るリークレート  
20b - オレンジ色の曲線：警戒点と合否判定値の間のリークレート  
20c - 赤い曲線：合否判定値を上回るリークレート
- 21 20a - 白い曲線：警戒点を下回るリークレート
- 22 20b - オレンジ色の曲線：警戒点と合否判定値の間のリークレート
- 23 20c - 赤い曲線：合否判定値を上回るリークレート
- 24 記録データの表示/非表示（項目23）
- 25 デテクターの吸気口圧力単位

1) デテクター設定による表示  
2) 表示のみ  
3) テスト進行時に表示

## ファンクションキーバー



## 設定メニュー



### [測定中]メニュー

- トレーサーガス
- セットポイント
- 補正值
- 校正リーク設定
- ターゲット値

### [テスト]メニュー

- テスト方法
- モード
- プローブタイプ
- サイクルエンド
- 吸気口バント
- メモファンクション
- ゼロアクティベーション
- リフレッシュ
- 粗リークモード
- 校正の確認
- 校正モード
- 起動時間タイマー

### [オプション]メニュー

- 単位
- 日付
- 時間
- 言語
- 音量
- ファンクションキー
- 表示設定
- ロック

### [メンテナンス]メニュー

- 履歴
- インフォメーション
- 前回メンテナンス
- 次回推奨メンテナンス
- ターボポンプと分析管のメンテナンス
- 再生
- 内部ピラニゲージ校正
- パラメーターの保存

### [ファイルマネージャー]メニュー

- [詳細設定]メニュー
- インプット/アウトプット
- サービス

## 伯東株式会社

システムプロダクツカンパニー  
電話 03-3225-8938  
hld@hakuto.co.jp  
http://www.hakuto-vacuum.jp